

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	医療ビジネス科	夜・通信	854 時間	160 時間	
工業 専門課程	情報システム科 ITビジネスコース	夜・通信	1,062 時間	160 時間	
	情報システム科 システムエンジニアコース	夜・通信	1,204 時間	160 時間	
教育社会福祉 専門課程	こども福祉科	夜・通信	32 単位	6 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	出雲市教育長	2021.4.1～ 2023.3.31	地域における人材 育成アドバイス
非常勤	雲南市教育長	2021.4.1～ 2023.3.31	地域における人材 育成アドバイス
非常勤	出雲商工会議所会頭	2021.4.1～ 2023.3.31	地域における人材 育成アドバイス
非常勤	山口コア学園事務局長	2021.4.1～ 2023.3.31	学校運営に係るチ ェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>① 作成過程</p> <p>教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。</p> <p>学科ごとに様式を統一し、科目や内容、時間・単位といった基本情報だけではなく、担当教員・講師の実務経験、成績評価の方法等に至るまで漏れのないよう、かつ分かりやすいように作成を行う。</p> <p>② 作成・公表時期</p> <p>作成は前年度1月頃から3月にかけて行う。3月末には完成し、新年度オリエンテーションにて学生に配布を行う。また、ホームページ上での公開は6月までに行う。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書に明記された成績評価の方法(出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など)により成績評価を行う。単位制の学科においては、所定の出席時間を満たし、試験に合格した場合に単位を認定する。成績の評価は以下の通りである。</p> <p>【学則別表2より】</p> <p>試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。その評価は次のとおりとする。</p> <p>・ 80点 ～ 100点 ----- A (優)</p> <p>・ 70点 ～ 79点 ----- B (良)</p> <p>・ 60点 ～ 69点 ----- C (可)</p> <p>・ 60点未満 ----- F (不可)</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学科・コース単位で全科目の合計点の平均を算出し、学科・コースごとにその一覧表を作成する。成績一覧は会議に諮り、承認を得た上で成績評価認定を行っている。</p> <p>上記一覧表から、各学科の人数より下位 1/4 に相当する人数・点数を求め、かつ 50 点未満、50 点以上 60 点未満、60 点以上 70 点未満、70 点以上 80 点未満、80 点以上 90 点未満、90 点以上の 6 段階に分けた成績分布表を作成する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><医療ビジネス科・情報システム科></p> <p>履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、卒業予定年度 2 月末開催の卒業判定会議を経て学校長により卒業が認定される。また、修了者には専門士の称号が付与される。</p> <p><こども福祉科></p> <p>教育課程に基づく指導計画に従って授業科目を履修し、授業科目の履修状況及び試験の結果が学則別表 2「学習評価基準」に定める基準を満たしていると認められる者は、卒業予定年度 3 月初旬開催の卒業判定会議を経て全課程の修了と卒業が認定される。また、修了者には専門士の称号が付与される。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
財産目録	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
事業報告書	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,888 単位時間	1,128 単位時間	24 単位時間	736 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		10人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が授業計画書を作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業計画書に明記された成績評価の方法（出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など）により成績評価を行う。成績の評価は以下の通りである。 【学則別表2より】 試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。その評価は次のとおりとする。 ・80点 ～ 100点 ----- A（優） ・70点 ～ 79点 ----- B（良） ・60点 ～ 69点 ----- C（可） ・60点未満 ----- F（不可）

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業の認定基準</p> <p>履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、卒業予定年度 2 月末開催の卒業判定会議を経て学校長により卒業が認定される。また、修了者には専門士の称号が付与される。</p> <p>進級の認定基準</p> <p>当該学年で履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、会議を経て学校長により進級が認定される。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>担任制とし、学力・意識に応じた個別の学修計画を立てている。個別面談や補習・補講を実施。</p> <p>就職担当者が、履歴書・面接指導等を行い、就職支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	0 人 (0%)	6 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 保険医療機関			
(就職指導内容) 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、インターンシップ、カウンセリング、模擬面接			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医師事務作業補助技能認定試験、調剤報酬請求事務技能認定他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	1 人	10 %
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席連絡がない場合はその日の朝のうちに担任が連絡をし、状況を確認している。個別面談や保護者面談を行い、必要であれば専門の支援を受けられるようサポートを行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報システム科 (ITビジネスコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,938 単位時間	678 単位時間	76 単位時間	1,184 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		19人	0人	(3人)	(7人)	(10人)	

(学科での人数)

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が授業計画書を作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>授業計画書に明記された成績評価の方法（出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など）により成績評価を行う。成績の評価は以下の通りである。</p> <p>【学則別表2より】</p> <p>試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。その評価は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 80点 ～ 100点 ----- A (優) ・ 70点 ～ 79点 ----- B (良) ・ 60点 ～ 69点 ----- C (可) ・ 60点未満 ----- F (不可)
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業の認定基準</p> <p>履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、卒業予定年度2月末開催の卒業判定会議を経て学校長により卒業が認定される。また、修了者には専門士の称号が付与される。</p> <p>進級の認定基準</p> <p>当該学年で履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、会議を経て学校長により進級が認定される。</p>

学修支援等
(概要) 担任制とし、学力・意識に応じた個別の学修計画を立てている。個別面談や補習・補講を実施。 就職担当者が、履歴書・面接指導等を行い、就職支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (71.4%)	2 人 (28.6%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、インターンシップ、カウンセリング、模擬面接			
(主な学修成果（資格・検定等）) IT パスポート、基本情報技術者試験他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	1 人	6.3 %
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席連絡がない場合はその日の朝のうちに担任が連絡をし、状況を確認している。個別面談や保護者面談を行い、必要であれば専門の支援を受けられるようサポートを行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報システム科 (システムエンジニアコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,988 単位時間	638 単位時間	198 単位時間	1,152 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		30人	0人	(3人)	(7人)	(10人)	

(学科での人数)

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が授業計画書を作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>授業計画書に明記された成績評価の方法（出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など）により成績評価を行う。成績の評価は以下の通りである。</p> <p>【学則別表 2 より】</p> <p>試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。その評価は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 80点 ～ 100点 ----- A (優) ・ 70点 ～ 79点 ----- B (良) ・ 60点 ～ 69点 ----- C (可) ・ 60点未満 ----- F (不可)
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業の認定基準</p> <p>履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、卒業予定年度2月末開催の卒業判定会議を経て学校長により卒業が認定される。また、修了者には専門士の称号が付与される。</p> <p>進級の認定基準</p> <p>当該学年で履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、会議を経て学校長により進級が認定される。</p>

学修支援等
(概要) 担任制とし、学力・意識に応じた個別の学修計画を立てている。個別面談や補習・補講を実施。 就職担当者が、履歴書・面接指導等を行い、就職支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (81.8%)	2 人 (18.2%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、インターンシップ、カウンセリング、模擬面接			
(主な学修成果（資格・検定等）) 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	1 人	3.7 %
(中途退学の主な理由) 体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席連絡がない場合はその日の朝のうちに担任が連絡をし、状況を確認している。個別面談や保護者面談を行い、必要であれば専門の支援を受けられるようサポートを行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		専門課程	こども福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	115 単位	32 単位	76 単位	6 単位	0 単位	1 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90 人	15 人	0 人	6 人	10 人	16 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が授業計画書を作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>授業計画書に明記された成績評価の方法（出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など）により成績評価を行う。所定の出席時間を満たし、試験に合格した場合に単位を認定する。成績の評価は以下の通りである。</p> <p>【学則別表 2 より】</p> <p>試験の評価は素点とし、100 点満点中 60 点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。その評価は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 80 点 ～ 100 点 ----- A（優） ・ 70 点 ～ 79 点 ----- B（良） ・ 60 点 ～ 69 点 ----- C（可） ・ 60 点未満 ----- F（不可）
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定基準</p> <p>教育課程に基づく指導計画に従って授業科目を履修し、授業科目の履修状況及び試験の結果が学則別表 2「学習評価基準」に定める基準を満たしていると認められる者は、卒業予定年度 3 月初旬開催の卒業判定会議を経て全課程の修了と卒業が認定される。また、修了者には専門士の称号が付与される。</p> <p>進級の認定基準</p> <p>当該学年で履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、会議を経て学校長により進級が認定される。</p>

学修支援等
(概要) 担任制とし、学力・意識に応じた個別の学修計画を立てている。個別面談や補習・補講を実施。 就職担当者が、履歴書・面接指導等を行い、就職支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育園 幼稚園			
(就職指導内容) 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、インターンシップ、カウンセリング、模擬面接			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席連絡がない場合はその日の朝のうちに担任が連絡をし、状況を確認している。個別面談や保護者面談を行い、必要であれば専門の支援を受けられるようサポートを行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療ビジネス	150,000 円	600,000 円	300,000 円	
情報システム	150,000 円	600,000 円	300,000 円	
こども福祉	150,000 円	600,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教職員自身が教育活動を常に見直し学校運営の状況を把握する。 ・早期に課題等を発見できる体制をつくる。 ・学校と保護者・地域をつないで相互の連携協力を深める。 ・学校評価について全教職員で共通理解を図り十分に意見交換を行い、学校改善に向けて取り組む。 (評価項目) 教育理念・目的・育成人材像等、学校運営、教育活動、教育成果、学生支援、教育環境 学生の募集と受入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
島根県議会議員	2021. 4. 1～2022. 3. 31	学識経験者
出雲市議会議員	2021. 4. 1～2022. 3. 31	学識経験者
前情報科学高等学校校長	2021. 4. 1～2022. 3. 31	高等学校関係者
斐川町商工会事務局長	2021. 4. 1～2022. 3. 31	地域企業等委員
NPO 法人ビジネスサポートひかわ事務局長	2021. 4. 1～2022. 3. 31	地域企業等委員
伊波野保育園園長	2021. 4. 1～2022. 3. 31	地域企業等委員
出雲コアカレッジ保護者会会長	2021. 4. 1～2022. 3. 31	保護者
出雲コアカレッジ非常勤講師 (卒業生)	2021. 4. 1～2022. 3. 31	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
--